

財政事情

平成30年11月版

市では、「大網白里市財政事情の作成および公表に関する条例」に基づき、皆さんに納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回（5月と11月）公表しています。今回は、平成29年度決算の概要と、平成30年度上半期（4月～9月）の収支状況、また、平成29年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

問財政課財政班 ☎0475 (70) 0310

平成29年度会計別決算

会計名	歳入決算額		歳出決算額		
	H29	H28	H29	H28	
一般会計	16,059	15,984	15,280	15,224	
特別会計	国民健康保険	6,853	7,197	6,602	6,798
	後期高齢者医療	508	475	502	472
	介護保険	4,024	3,845	3,846	3,688
	介護サービス事業	24	22	22	21
	土地取得事業	94	75	93	40
	公共下水道事業	1,240	1,242	1,187	1,216
	農業集落排水事業	150	142	140	137
	土地区画整理事業	501	438	443	397
合計	29,452	29,420	28,115	27,993	

区分	決算額	
	H29	H28
ガス事業収益	789	744
ガス事業費用	747	728
資本的収入	5	50
資本的支出	146	131

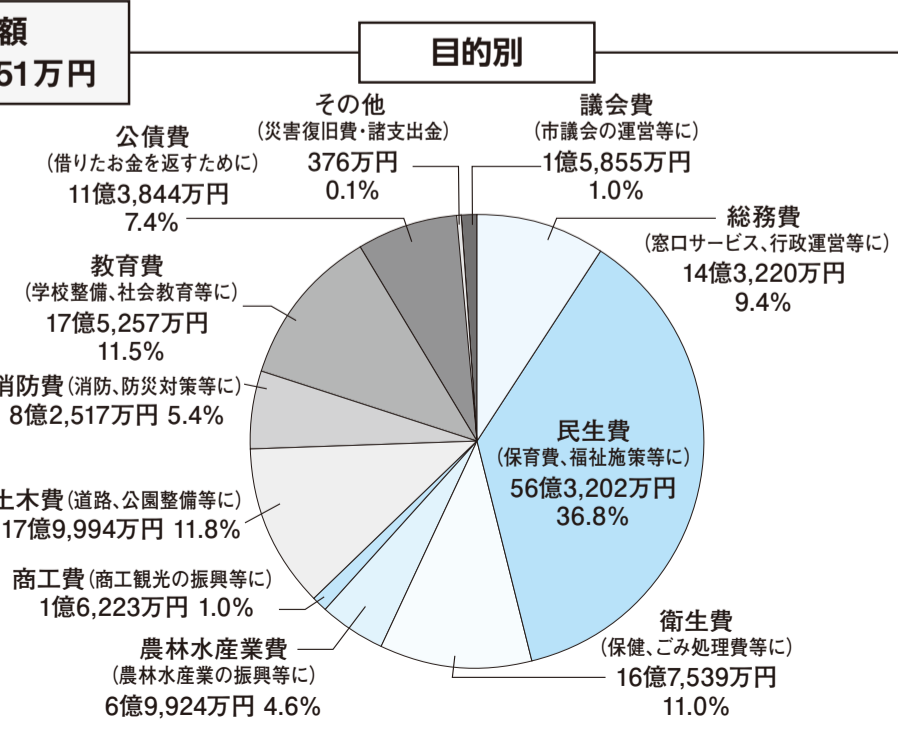
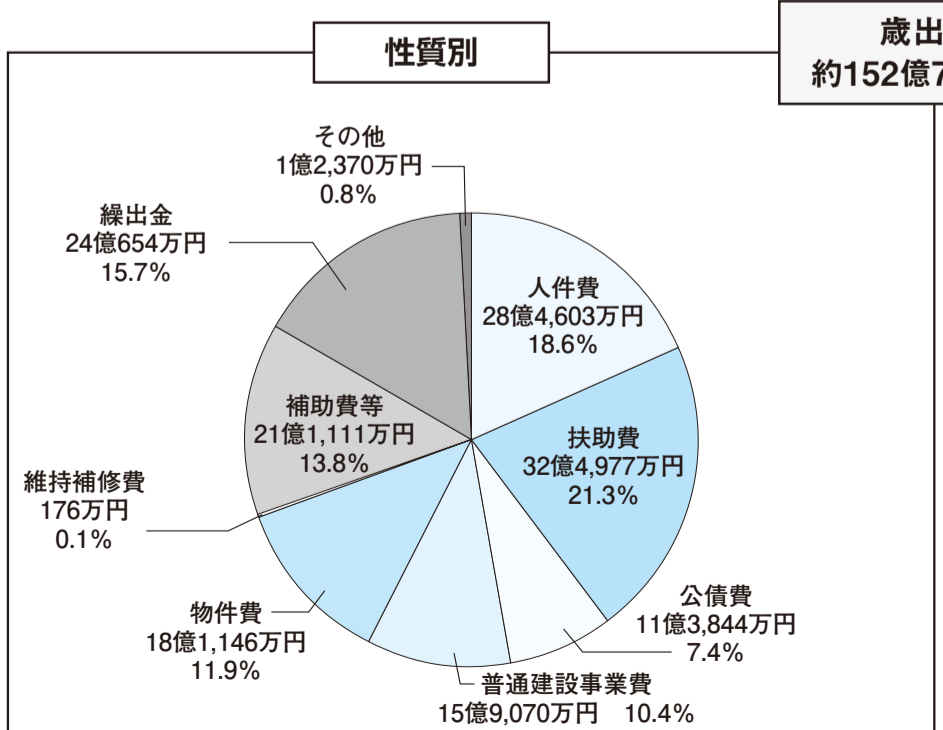
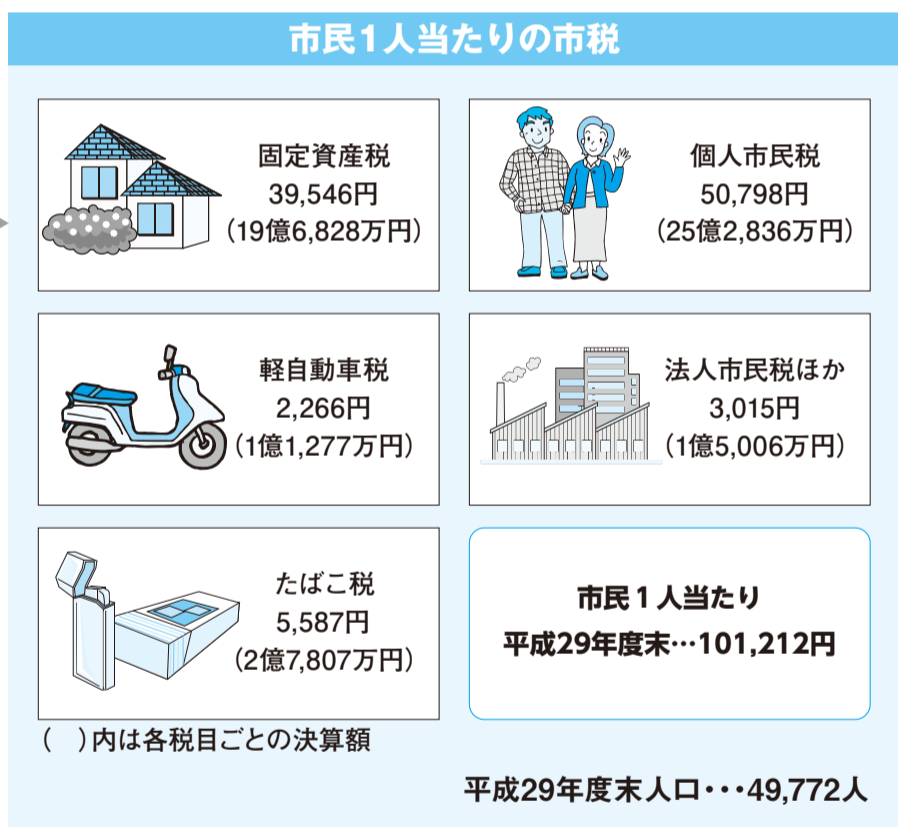
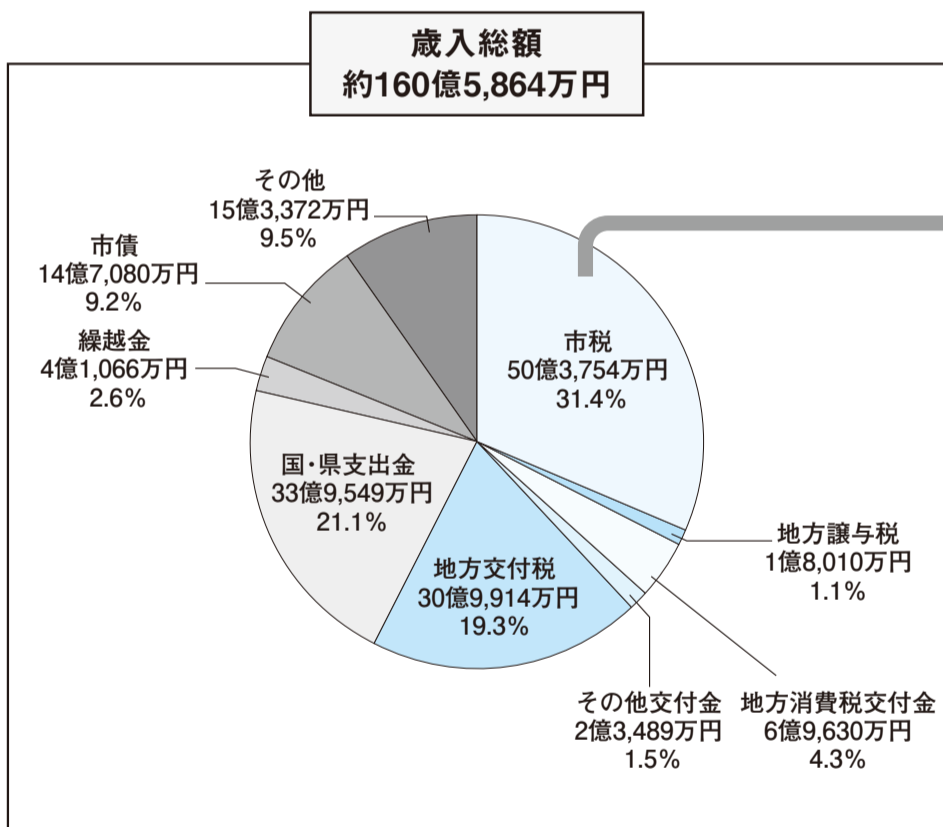
区分	決算額	
	H29	H28
病院事業収益	2,622	2,371
病院事業費用	2,597	2,388
資本的収入	125	142
資本的支出	154	184

平成29年度は、一般会計と8つの特別会計を合わせた9会計で、歳入決算額294億5,213万円、歳出決算額281億1,523万円でした。

このうち、一般会計の決算額は、中学校給食施設の整備に係る経費や、平成28年度の台風で被災した農業用ハウスの再建に係る補助金等が増加したため、前年度と比較し増額となっています。国民健康保険特別会計は被保険者の減少に伴い保険給付費が減額となったため、前年度と比較し減額となっています。

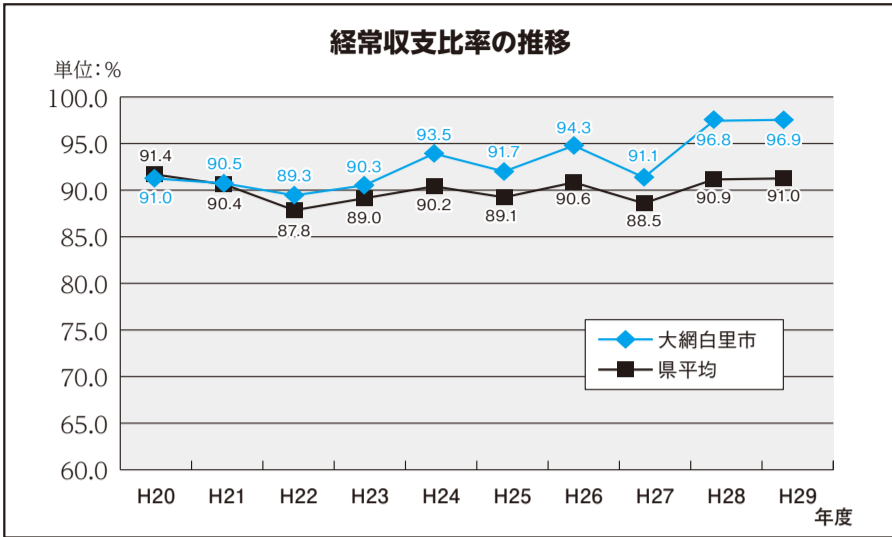
※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

平成29年度一般会計決算の内訳



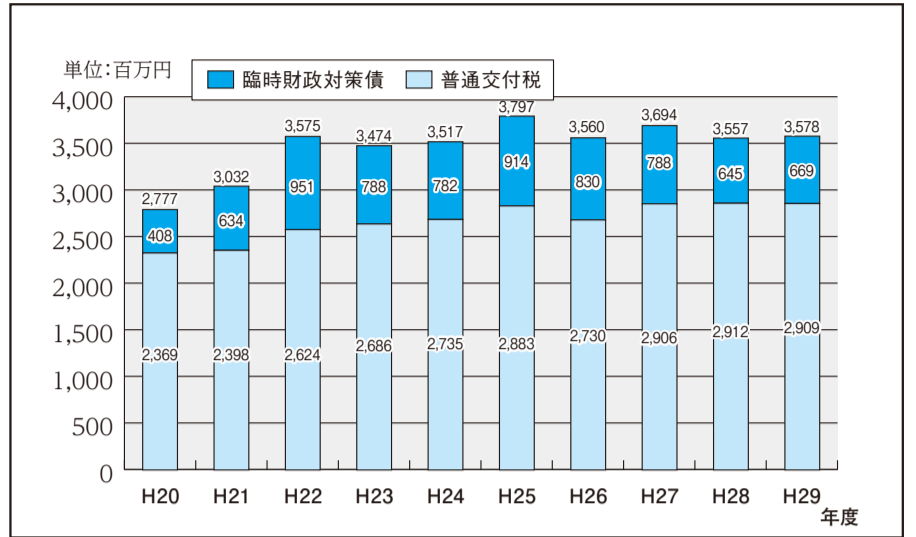
経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。平成29年度は、社会保障関連経費や市債償還金等の支出増に伴い、経常収支比率が0.1ポイント増加し、96.9%となりました。



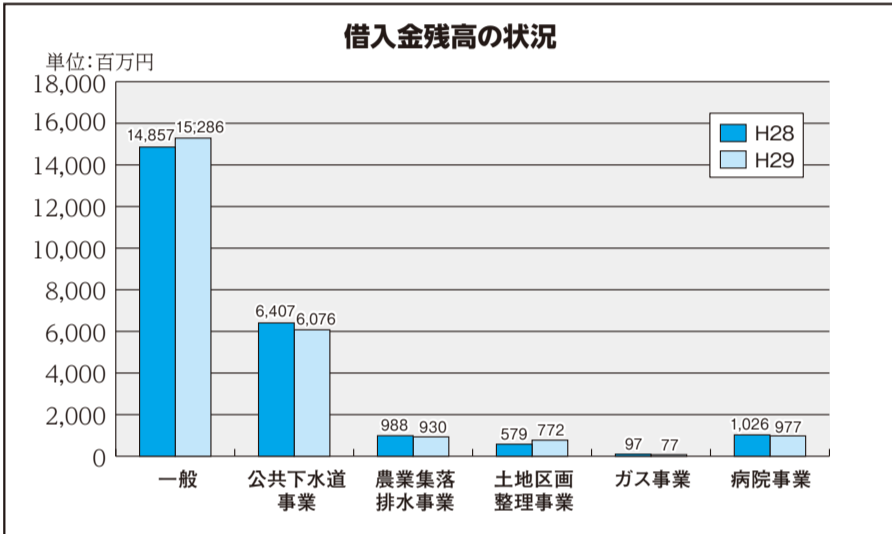
普通交付税等の推移

平成29年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、約35億7千8百万円となり、普通交付税は約3百万円の減額、臨時財政対策債は約2千4百万円の増額となりました。



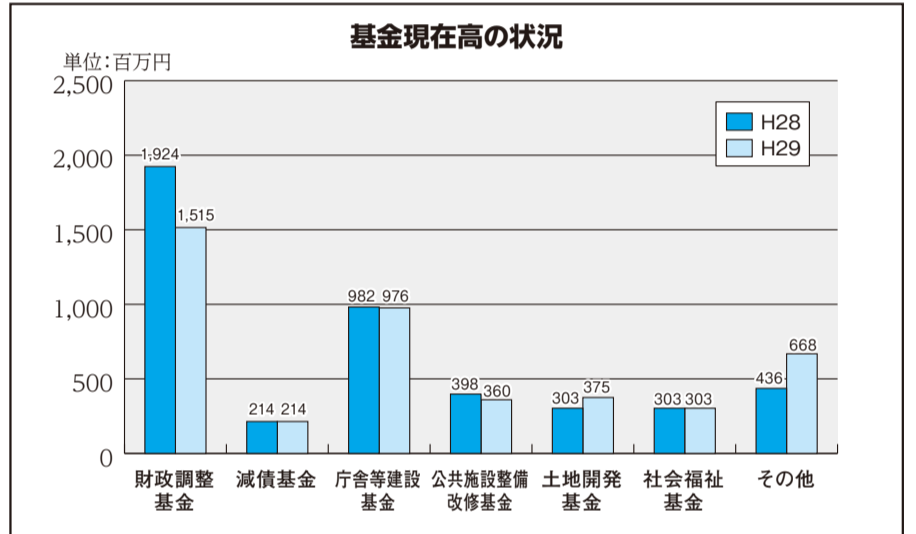
借入金残高の状況(全会計)

平成29年度末の借入金残高は、全会計合計で約241億円となり、前年度と比べ、約1億6千万円の増額となりました。平成29年度の主な借入については、大網駅東土地区画整理事業や圏央道スマートインターチェンジ関連事業、大網中学校給食施設整備事業等の建設事業となっています。



基金現在高の状況(全会計)

平成29年度末の基金現在高は、約44億1千1百万円です。平成28年度末と比較すると、合計で約1億4千9百万円の減額となりました。



平成30年度一般会計・特別会計上半期収支状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	15,876,800	6,823,195	43.0	5,720,398	36.0
特別会計					
国民健康保険	5,788,137	2,415,590	41.7	2,019,554	34.9
後期高齢者医療	555,931	186,930	33.6	108,936	19.6
介護保険	4,183,473	1,716,067	41.0	1,625,547	38.9
介護サービス事業	22,996	8,407	36.6	9,506	41.3
土地取得事業	35	509	1,454.3	0	0.0
公共下水道事業	1,228,344	233,882	19.0	340,596	27.7
農業集落排水事業	158,680	19,152	12.1	57,182	36.0
土地区画整理事業	499,624	58,578	11.7	72,773	14.6

※予算現額は、繰越分を含む9月補正後の予算です。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成29年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

- 実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模※に対する比率
- 連結実質赤字比率…全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率…公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

※標準財政規模…地方公共団体が通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を表すものです。また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

平成29年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里市比率	- (-)	- (-)	7.8% (7.9%)	73.9% (65.8%)
参考				
早期健全化基準	13.39%	18.39%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

平成29年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 333,130千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 244,422千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 53,043千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 9,606千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

平成30年度公営企業の状況(8月31日現在)

○ガス事業

区分	(H30) 8月末累計	(H29) 8月末累計
調定戸数	58,913戸	58,061戸
販売量	2,452,129 m ³	2,727,952 m ³
平均使用量	41.6 m ³	47.0 m ³
平均売上額	3,788円	4,196円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	765,492	245,821	32.1
ガス事業費用	757,731	169,764	22.4

○病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数
入院	12,019人	78.6人
外来	27,202人	256.6人

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,612,500	807,439	30.9
病院事業費用	2,608,764	886,497	34.0